CITIZEN

クオーツ 報時付掛時計 取扱説明書

取扱説明書番号 M196-CXXX

お買い上げありがとうございます。
○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●**修理部品の保有について**
この時計の修理用性能部品(電子回路等)は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●**修理可能期間について**
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●**転居または贈答品の場合**
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

お買い上げ製品に関するお問い合わせの際は、時計裏面に表示してある製品番号(型番)をお伝えください。 例 4MJ○○○

お問い合わせ先 **■お客様相談室** **フリーダイヤル 0120-557-005**
受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告 この表示は、「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。

注意 この表示は、「**傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

禁止 この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。

強制 この表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

禁止 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

●温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
●温度が−10℃以下になる所。プラスチックの劣化や電池の性能が低下することがあります。
●浴室など湿気が多いところ。
●ほこりが多く発生するところ。
●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●温泉場など、ガスの発生する所。
●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水をやわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●よごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
●静電気により時計および掛けた壁面が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

おもな製品仕様

常温での時間精度	平均月差 ±20秒 (常温中のクオーツ精度)
報時精度	毎正時に対して±30秒
報時音	シュモク式 同時打ち 毎正時:数取り 30分:1回
使用温度範囲	−10℃~+50℃
使用電池	単1形マンガン乾電池(JIS規格R20P) 1個
電池寿命	約1年
その他	報時 ON/OFFスイッチ 飾り振子付き

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

振り子	1個	重すい	2個
木ねじ(大)	1個	木ねじ(小)	1個
単1形マンガン乾電池	1個		
取扱説明書	本書		
保証書	1枚		

電池のご注意 (電池の正しい使い方)

電池ご使用上のポイント **正しく使って事故をなくしましょう**

●プラス+、マイナス−を間違えない。
●長期間使用しないときは、電池を抜いておく。
●幼児の手が届かないところに置く。
●時計が動いていても、定期的に交換する
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。

電池の種類について

●製品は、電池の特性に合わせて設計されていますので、指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があります。一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一般に充電式乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
(例. Panasonic オキシライド乾電池)

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

注意
●電池に傷をつけたり、分解しない。
●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。
●時計を使用しないときは電池を取り外す。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告 **電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。**
衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意 **もれた液に直接手で触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。**
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

注意 火に入れると破裂の原因となり危険です。

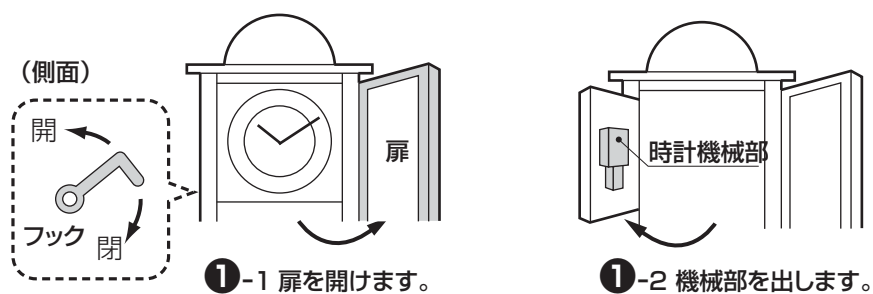
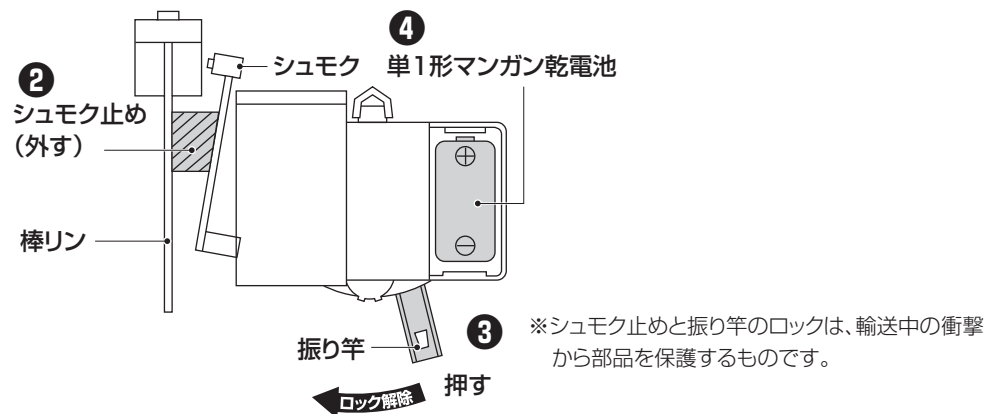
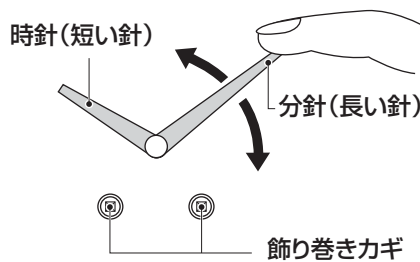
時計の使い方

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

❶-1 扉を開けます。

❶-2 機械部を出します。

■時計機械部

※シュモク止めと振り竿のロックは、輸送中の衝撃から部品を保護するものです。

〈時刻の合わせ方〉❺

※時針を回さないでください。時間違いや故障の原因になります。
※文字板に飾り巻きカギが付いているタイプは、飾りですので巻かないでください。

〈報時スイッチの設定〉❻

ON　OFF

鳴らすとき ⟷ 鳴らさないとき

報時する数

毎正時：時刻に応じた数　30 分：1 回

❶ 時計機械部を出す

-1 時計側面のフックを外し、扉を開けます。
-2 文字板面を開けて、時計機械部を出します。

❷ シュモク止めを取り外す

❸ 振り竿のロックを解除する

矢印の方向へ指で押してロックを解除します。
※輸送する際は必ずシュモク止めを取付け、振り竿をロックしてください。
※ロックまたはロックを解除するときに固いことがあります。このようなときには、少し力を入れて操作してください。

❹ 電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合せて電池を入れます。
※⊕⊖を逆に入れると時計は動きません。

❺ 時刻を合わせる

分針（長い針）を指でゆっくり回して、時刻を合わせます。
※針をはやく回すと、報時数が合わなくなることがありますので、必ずゆっくり回してください。
※毎45～0分までの15分間で時刻合わせをした場合、最初の正時では時刻と報時数が合わないことがありますが、つぎの正時から正常に報時します。

❻ 報時スイッチを設定する

文字板面に報時スイッチが付いていますので、報時を鳴らしたい場合はONに、鳴らさない場合はOFFに設定します。
※報時が鳴っているときは、報時スイッチを操作しないでください。
※報時スイッチをOFFからONにした場合、最初の正時では時刻と報時数が合わないことがありますが、つぎの正時から正常に報時します。
※暗くなると報時しなくなる機能は付いていません。また、音量も調節できません。

❼ 扉を閉める

扉を閉め、フックを固定してください。

時計の掛け方

時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○時計を垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
○時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
●木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、**壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。**その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

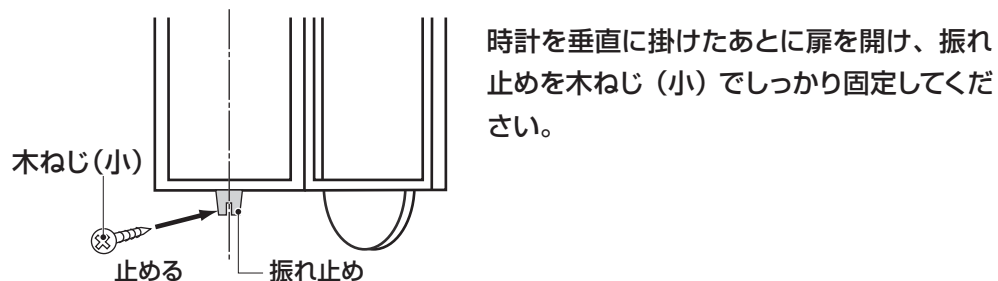
■垂直に掛けないと、振り子が止まることがあります。

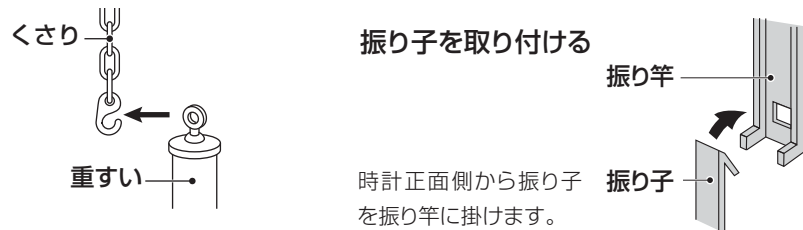
良い例

悪い例

❽ 時計を掛ける

（時計の掛け方）に従って確実に掛けてください。

時計を垂直に掛けたあとに扉を開け、振れ止めを木ねじ（小）でしっかり固定してください。

❾ 振り子と重すいを取り付ける

-1 くさりを止めている輪ゴムを外し、くさりに重すいをしっかり掛けてください。
-2 振り子を取り付けます。
振り子が動き出さないときには、軽く振り子を左右に揺らしてください。
※振り子は、飾りですので時間精度には影響を与えません。

❿ 扉を閉じる

扉を閉め、フックを固定してください。

◆ 電池の交換　早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれが発生すると、時計の修理や壁面などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
●時計が動いていても1年に1回、定期的に交換する。
●電池の⊕⊖を逆に入れない。